

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 医薬品合成化学

(氏名) 尾野村 治

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 環状アミン類の高選択的官能基化
2. 珪素化合物を用いた有機合成
3. 含フッ素化合物の合成
4. 動的分子認識に基づく新有機反応の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. S. Hirata, M. Kuriyama, and O. Onomura: Facile synthesis of both enantiomers of (pyrrolidin-2-yl)phosphonate from L-proline, *Tetrahedron*, **67** (48), 9411-9416 (2011). (IF: 3.011)
2. T. Takeichi, M. Kuriyama, and O. Onomura: Catalytic monosilylation of 1,2-diols, *Tetrahedron Lett.*, **52** (49), 6646-6648 (2011). (IF: 2.618)

【学会発表】

A 国際学会

(A-a) 招待及び特別講演

1. O. Onomura: Enantioselective Oxidation of 1,2-Diols and Their Analogues, The Joint-Symposium in Organic and Bioorganic Chemistry of Nagasaki University, Kaohsiung Medical University and National Sun Yat-sen University, Kaohsiung, 2011.9.26.
2. O. Onomura, S. Kamogawa, W. Muramatsu, and M. Kuriyama: Facile synthesis of cyclic β -amino acids, The 10th International Symposium on Organic Reactions, Yokohama, Abstract p.43-44, 2011.11.21~24.

(A-b) 一般講演

1. Y. Tsuda, W. Muramatsu, M. Kuriyama, and O. Onomura: Catalytic Asymmetric Desymmetrization for Preparation of optically Active Oxazoline Derivatives, The 2nd International Symposium on Process Chemistry, Kyoto, Abstract p.174-175, 2011.8.10~12.
2. T. Takeichi, M. Kuriyama, and O. Onomura: Sn-catalyzed monosilylation of 1,2-diols, 1st International Symposium on Molecular Activation, Awaji, Abstract p.52, 2011.11.9~10.
3. E. Sakata, W. Muramatsu, M. Kuriyama, and O. Onomura: Enantioselective Synthesis of Aziridines, The 10th International Symposium on Organic Reactions, Yokohama, Program p.136 (Abstract ID: pp-28), 2011.11.21~24.

4. P. N. Gichuhi, S. Mizuta, W. Muramatsu, M. Kuriyama, and O. Onomura: Fluorine-controlled Diastereoselective nucleophilic Addition to N-Acyliminium Ion, 8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, Tokyo, Abstract p. 46, 2011. 11. 29~12. 2.

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 鴨川諭, 尾野村治, 栗山正巳, 村松渉: 単環及び二環状 β -アミノ酸の簡便合成法の開発, 日本化学会第 91 春季年会, 講演要旨集 CD-ROM, 4C6-17, 2011 年 3 月 26-29 日 (横浜).
2. 竹市翼, 村松渉, 栗山正巳, 尾野村治: 有機スズ触媒を用いるジオール類のモノシリル化反応の開発, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 29L-am08, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
3. J. M. William, 村松渉, 尾野村治: 水中における 1,2-および 1,3-ジオールの選択的モノベンゾイル化, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 29L-am09, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
4. 濱口典久, 栗山正巳, 尾野村治: 銅触媒を用いたジオール類の選択的モノアリアル化反応の開発, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 29L-am10, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
5. 津田悠太郎, 村松渉, 栗山正巳, 尾野村治: 触媒的不斉非対称化法による光学活性オキサゾリン合成, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 29L-pm01, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
6. 谷川智子, 村松渉, 尾野村治: 有機スズ触媒を用いるグルコース誘導体の位置選択的チオカルボニル化, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 29M-am02, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
7. 吉松博文, 濱水亨, 栗山正巳, 尾野村治: α -exo-メチレンケトン合成に利用できる電極酸化反応の開発, 第 131 回日本薬学会年会, 発表番号 30F-am17, 2011 年 3 月 28-31 日 (静岡).
8. 石丸景子, 湊大志郎, 飯川慎也, 村松渉, 栗山正巳, 尾野村治: 分子内ハロオキシ化のジアステレオ選択性に及ぼすアンモニウム塩の効果, 第 35 回エレクトロオーガニックケミストリー討論会, 講演要旨集 p. 24-25, 2011 年 6 月 23-24 日 (福岡).
9. 松尾星来, 栗山正巳, 尾野村治: 新規 C-O 二座型配位子の開発と鈴木-宮浦反応への応用, 第 41 回複素環化学討論会, 講演要旨集 p. 195-196, 2011 年 10 月 20-22 日 (熊本).
10. 谷川智子, 竹本祐樹, 村松渉, 尾野村治: 触媒制御に基づく単糖類の位置選択的モノチオカルボニル化, 第 41 回複素環化学討論会, 講演要旨集 p. 267-268, 2011 年 10 月 20-22 日 (熊本).
11. 濱口典久, 栗山正巳, 尾野村治: 有機ヨードニウム塩を用いたジオール類の触媒的モノアリアル化反応, 第 37 回反応と合成の進歩シンポジウム, 講演要旨集 p. 256-257, 2011 年 11 月 7-8 日 (徳島).

12. 竹市翼, 村松渉, 栗山正巳, 尾野村治: 有機スズ錯体によるジオール類モノシリル化の化学選択性および加速効果の検討, 第 28 回日本薬学会九州支部大会, 講演予稿集 p. 52, 2011 年 12 月 10-11 日 (福岡)
13. 谷川智子, 村松渉, 栗山正巳, 尾野村治: 光学活性置換セリン合成を目指した触媒的不斉酸化反応の開発, 第 28 回日本薬学会九州支部大会, 講演予稿集 p. 53, 2011 年 12 月 10-11 日 (福岡)
14. 津田悠太朗, 栗山正巳, 尾野村治: キラル銅触媒を用いた光学活性オキサゾリン誘導体の合成, 第 28 回日本薬学会九州支部大会, 講演予稿集 p. 109, 2011 年 12 月 10-11 日 (福岡)
15. 吉松博文, 濱水亨, 栗山正巳, 尾野村治: α -exo-メチレンケトンの電極酸化転位反応の開発, 第 28 回日本薬学会九州支部大会, 講演予稿集 p. 110, 2011 年 12 月 10-11 日 (福岡)

【特許】

1. 尾野村治, 村松渉, 谷川智子, 岩崎史哲: α -ピラノシドチオカルボニルエステル化合物の製造方法, 特願2011-006542 (平成23年1月17日) 及び特願2011-057746 (平成23年3月16日).
2. 尾野村治, 栗山正巳, 竹市翼, 岩崎史哲: ヒドロキシシリルエーテル化合物の製造方法, 特願 2011-010562 (平成 23 年 1 月 21 日) 及び特願 2011-051602 (平成 23 年 3 月 9 日).
3. 尾野村治, 津田悠太朗, 柳利治, 児玉和也: 光学活性化合物又はその塩の製造方法, 特願 2011-099631 (平成 23 年 1 月 31 日) 及び特願 2011-153692 (平成 23 年 7 月 12 日).
4. 尾野村治, 村松渉, 谷川智子, 岩崎史哲: β -グルコピラノシドチオカルボニルエステルの製造方法, 特願 2011-035931 (平成 23 年 2 月 22 日).
5. 尾野村治, 村松渉, 岩崎史哲: ピラノシドチオカルボニルエステル化合物の製造方法, 特願 2011-065439 (平成 23 年 3 月 24 日).
6. 尾野村治, 栗山正巳, 松尾星来, 高瀬一郎: 新規配位子とその錯体並びに錯体の製造方法, 特願 2011-079321 (平成 23 年 3 月 31 日).
7. 尾野村治, 鴨川諭, 柳利治: 含窒素複素環の製造方法, 特願 2011-091596 (平成 23 年 4 月 15 日) 及び PCT/JP2011/076734 (平成 23 年 11 月 18 日).
8. 尾野村治, 谷川智子, 岩崎史哲: 光学活性 α -アルキルセリン誘導体の製造方法, 特願 2011-248573 (平成 23 年 11 月 14 日).
9. 尾野村治, 坂田英武, 柳利治, 児玉和也: 光学活性アジリジン化合物の製造方法, 特願 2011-253325 (平成 23 年 11 月 18 日).

【研究費取得状況】

1. シクロアルカン C-H 結合高効率活性化法の開発, 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究
2. 触媒的不斉モノスルホニル化による光学活性アジリジンの実用的合成, 科学技術振興

機構研究成果最適展開支援事業 (A-STEP) 探索タイプ

3. Highly efficient synthesis of biologically active compounds, 財団法人交流協会
若手研究者交流事業

【学会役員等】

1. 長崎県理科化学教育懇談会副会長
2. 電気化学会有機電気化学研究会常任幹事
3. 日本プロセス化学会将来計画委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	79 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	4 編
著書 (欧文)	2 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	67 件		